

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 13

事務事業名	国際交流事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	企画調整課		
課長名	増田 正治	内線	221
担当者名	堀江 史佳	内線	215

基本目標		人を育むまち
政策	010401	国際・地域間交流の推進
施策		国際交流の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費
事業コード	020000	国際交流事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	大村市アジア国際戦略(策定中)	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 市民、友好・姉妹都市市民、国際交流団体		
意図	対象をどのような状態にしたいか 文化、観光、スポーツ交流やホームステイを通じて異文化への理解を深め、国際感覚の醸成を図る。		
事業概要	①相互公式訪問(関行区は5年ごと、シントラ市は2年ごと、サンカルロス市は不定期) ②中高生のホームステイ派遣(費用の一部補助) (参考) 上海市閔行区:平成5年12月 友好都市提携 ポルトガル共和国シントラ市:平成9年8月 姉妹都市締結 米国サンカルロス市:平成24年7月 姉妹都市締結 (財)大村国際交流協会の解散:平成24年12月		
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	友好都市締結意向書、姉妹都市提携共同宣言、姉妹都市提携合意書、大村市中高生海外派遣補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 海外姉妹都市への学生派遣者数	計画値	8	6	6	8	
		実績値	6	5	6	8	
	ホームステイの派遣	達成度	%	75.0%	83.3%	100.0%	
		計画値					
成果指標	① ホームステイ終了後に英語力がアップしたと感じた学生の割合	計画値	75	75	75	75	
		実績値	100	100	100	100	
	達成度	%	133.3%	133.3%	133.3%		
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	3,788	3,602	3,215	3,762	6,410	3,762	3,762	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	3,380	2,315	3,215	3,762	6,410	3,762	3,762	
一般財源	408	1,287	0	0				
② 人件費(千円)	13,221	8,083	5,544	4,106	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.65	1.05	0.75	0.55	ホームステイ派遣 ポルトガル訪問団 派遣	ホームステイ派遣	ホームステイ派遣	
時間外勤務(時間)	54	74	127	53				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	17,009	11,685	8,759	7,868				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	関行区:視察団来訪予定(時期未定) シントラ市:8/1～8/14まで4名の学生をホームステイ派遣。 サンカルロス市:8/1～8/14まで4名の学生をホームステイ派遣。
事業が抱える問題・課題等	国家間の事情や経済状況等により、協定に基づく公式訪問等が計画どおり実施できていない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	姉妹都市提携に基づく相互訪問事業は、継続した国際交流を推進するため必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	姉妹都市提携に基づく相互訪問事業等、継続した国際交流を推進するため、市の関与は妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	外国籍市民を含む地域住民により、民間レベルでの国際交流の活性化につながることが期待される。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	国際交流の推進の手段として必要な事業である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	市町振興協会助成金や国際交流基金の活用し、効果的な事業実施が期待できる。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	海外派遣事業については参加者は負担金(渡航費用の1/10)を負担している						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	定期的な公式訪問等を行い、姉妹都市間の交流がより活発になるよう努める。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。